

平成 31 年度事業計画

全国的な少子高齢化と核家族化の進行、住民のつながりの希薄化などから、地域では様々な生活課題が生じています。福生市においても家族機能の変化、日常の様々な場面におけるつながりの弱まりを背景に、社会的孤立や貧困、制度では解決できないはざまの課題が表面化しています。国は住民、関係機関等の縦割りの関係を是正するため「地域共生社会」を示し、地域住民が「他人事」ではなく「我が事」の意識を持って、課題の解決や地域づくりに主体的に取り組み、つながり支えあう地域を育んでいく、互助、共助の地域づくりと地域の担い手づくりが一層求められてきています。

本会は、これまでも住民主体の地域づくりの推進、子育て、介護などはざまの課題に対する事業展開と複合化・複雑化した課題を受け止める包括的な相談支援体制の整備を推進してきており、更に平成 30 年度には「第 4 期 福生市地域福祉活動計画」を策定し、「気づき・築きあい 認めあい とともに生きるまち ふっさ」の基本理念に基づき戦略的事業展開を進めております。平成 31 年度は今計画に沿い、次の項目を重点目標とし、事業を推進していきます。

1 福生市地域福祉活動計画（ささえあいプランふっさ）の推進

「第 4 期福生市地域福祉活動計画」（ささえあいプランふっさ）の基本理念である「気づき・築きあい 認めあい ささえあい とともに生きるまちふっさ」のもと、地域住民、行政や各関係機関・団体等と連携・協働を深め、それぞれの役割を明確に、福生市が策定した「地域福祉計画」と一体的に地域福祉を推進していきます。

2 社協らしい事業の展開

本会は、これまでの実績等が福生市に評価され、平成 31 年度～平成 35 年度(2023 年度)までの 5 年間、「福祉センター施設管理」、「老人福祉センター」の 2 事業を指定管理者として指定され、これまで指定管理者として運営した、「高齢者生きがい活動支援デイサービス」、「高齢者配食サービス」の 2 事業を新たに福生市の委託事業として受託し、より利用実態に即した事業として運営を行います。これまで実施してきた各種事業についても、市民・行政・各種団体等の負託に応え、地域福祉を推進する中核的団体として、より一層充実した事業運営に努めます。

また、昨年度に引き続き、本年度も福生市が福祉センターの改良工事を実施します。様々な事業運営への影響を最低限におさえ、地域住民、各種機関・団体等への効率的な事業運営等に努め、サービスの向上を目指します。

3 災害に備えた社協の体制強化

小地域福祉活動など日常的な地域の支え合いの仕組みづくりを推進し、地域住民・各関係機関・団体と強固な連携が取れる体制を構築します。更に、福生市との「災害時におけるボランティア活動等に関する協定書」に基づき、災害ボランティアセンター設置・運営訓練など実施し、行政と協働した災害に備えた取り組みの強化に努めます。

4 時代に対応した社協の体制づくり

財源確保が非常に厳しい状況下において、引き続き経営体制づくりの強化に努め、より効果的に事業を推進するための業務改善、組織の見直しを継続して検討・実施します。更に、社協職員としての資質の向上を図り、職員が専門性を発揮し、新たな事業の開発・実施に努めます。